

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）  
（総合）研究報告書

がんの診療データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用に関する研究

研究分担者 鹿間直人 埼玉医科大学医学部 教授

臓器別がん登録（担当：乳癌）と乳癌学会のがん登録の統合を図り、臨床研究や医療政策に有益となるデータベースの構築を目指した。入力の簡便化を重視し、短時間で効率の良いデータ入力を実現すべく入力項目の選定を行った。

A．研究目的

臓器別がん登録とモダリティ別登録の有機的統合を図り、臨床の現場で運用可能なデータベースを構築する。

B．研究方法

乳癌の放射線治療に関する診療データベースの入力項目の整理と階層（優先順位）を作成。日本乳癌学会のデータベースの項目確認と本システムとの連携。（倫理面への配慮）

個人情報取り扱い、および人体を対象とした介入を伴う診療・試験は行っていない。

C．研究結果

入力項目を絞り、短時間で入力ができるようなシステムを作成した。入力頁を切り替えることで、入力の優先度が容易に理解できるシステムになった。日本乳癌学会のデータベースの項目を確認し連携が可能であることを確認した。

D．考察

入力時間を短縮させ、現場での入力が可能となった。日本放射線腫瘍学会のデータベース委員会から要請のある構造調査にも対応しており、臨床医がデータ提供のために膨大な時間を費やすことなく、データの提供が可能となった。

E．結論

入力項目の整理と階層を設けることで実臨床に利用可能なシステムを開発した。

F．研究発表

1. 論文発表

1) Shikama N, Tsujino K, Nakamura K, Ishikura S. Survey of advanced radiation technologies used at designated cancer care hospitals in Japan. Jpn J Clin Oncol. 2014;44:72-7.

2. 学会発表

1) Shikama N, Kumazaki Y, Kato S, Ebara T, Makino S, Abe T, Miyaura K, Onozato Y, Osaki A, Saeki T. Validation of the utility of cranio-caudal clip distance (CCD) for identifying candidates for accelerated partial breast irradiation (APBI) using three-dimensional conformal external beam radiotherapy (3D-CRT). 米国放射線腫瘍学会第55回学術大会，2013，アトランタ、米国

G．知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし